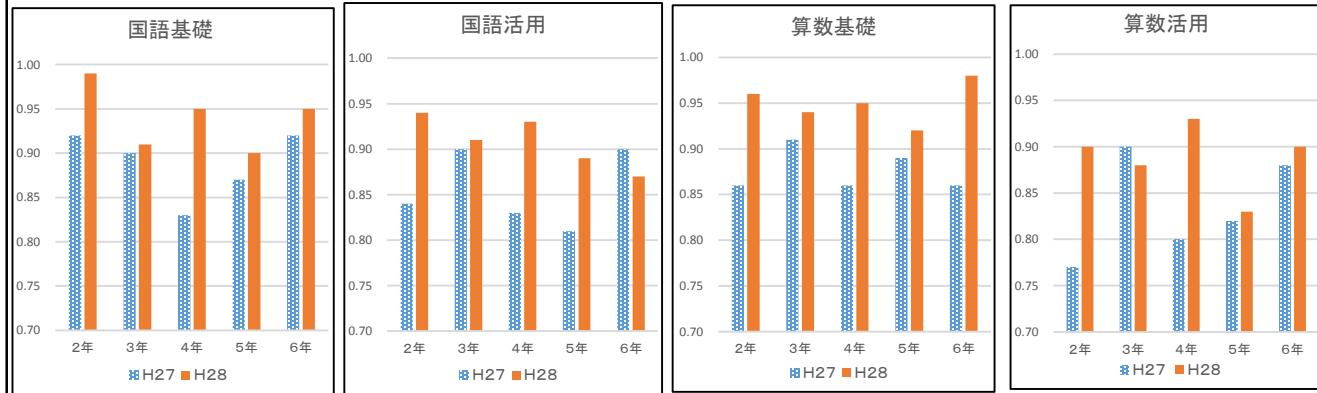


- (1) 調査の目的  
 ○児童一人ひとりが自らの学習の定着状況や学習状況を把握して、取り組むべき課題を明確にすること。  
 ○結果をもとに、各学校の学力向上や授業に関する取組み状況を検証し、指導体制及び指導計画の検討を図るとともに、教員一人ひとりの指導に生かすことで、学習指導の充実を図ること。  
 ○本市教育委員会として、明らかになった学習指導上の課題を教育施策に反映させることにより、本市児童の学力向上に資すること。
- (2) 調査の対象学年・児童数 市内10小学校 第1～6学年全児童 ※第1学年は質問紙調査のみ  
 第1学年 722人 第2学年 676人 第3学年 700人  
 第4学年 724人 第5学年 671人 第6学年 717人
- (3) 調査実施日 平成28年12月14日(水)
- (4) 調査の内容 委託業者の標準学力調査(3学期版)を実施  
 ①教科に関する学習到達度調査(国語・算数の11月までの学習内容)  
 ②生活・学習状況に関する質問紙調査



- ・正答率を基礎と活用の差で見ると、基礎よりも活用に関する問題の正答率が全国参加者平均との差が大きい傾向にある。
- ・国語基礎は、2年生でおおむね良好な状況で、3、5年生で課題があった。
- ・国語活用は、5、6年生で課題があった。
- ・算数基礎は、2、6年生でおおむね良好な状況で、5年生で課題があった。
- ・算数活用は、3、5年生で課題があった。

## 学習到達度調査の概要

### 平均正答率

		2年	3年	4年	5年	6年
国語	全国参加者平均	80.1	66.3	68.0	72.2	75.3
	摂津市平均	79.0	60.5	64.2	65.0	70.6
算数	全国参加者平均	67.1	67.1	63.7	60.2	66.5
	摂津市平均	64.0	62.1	60.4	54.7	64.5

※**正答率とは**  
 全問題数の内、何問正答したかをパーセントの形で表したものです。

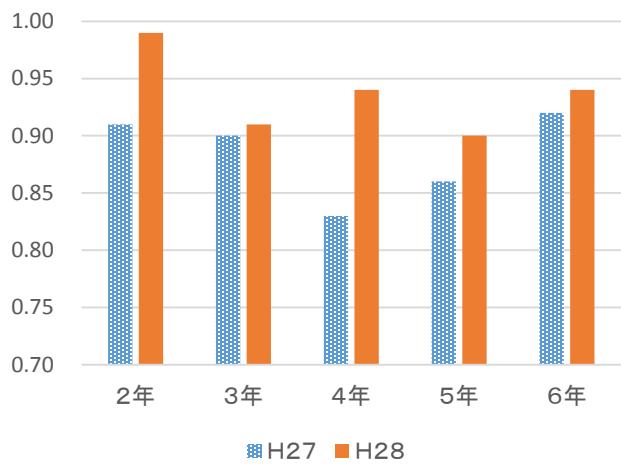
※**全国参加者とは**  
 各自治体等の判断により、本調査に参加した児童のことで、裏面の「全国」とは、全国参加者のことです。

※**全国参加者平均正答率とは**  
 本調査に参加した全児童の平均正答率を表しています。

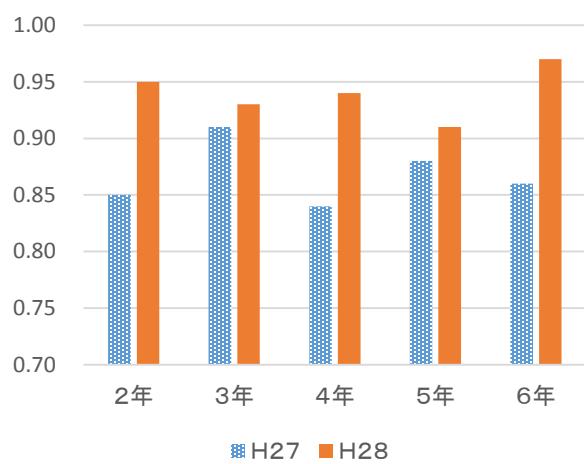
※**対全国参加者平均比とは**  
 全国参加者平均の数値を1としたときの摂津市の数値を表したものです。

### 対全国参加者平均比

#### 国語

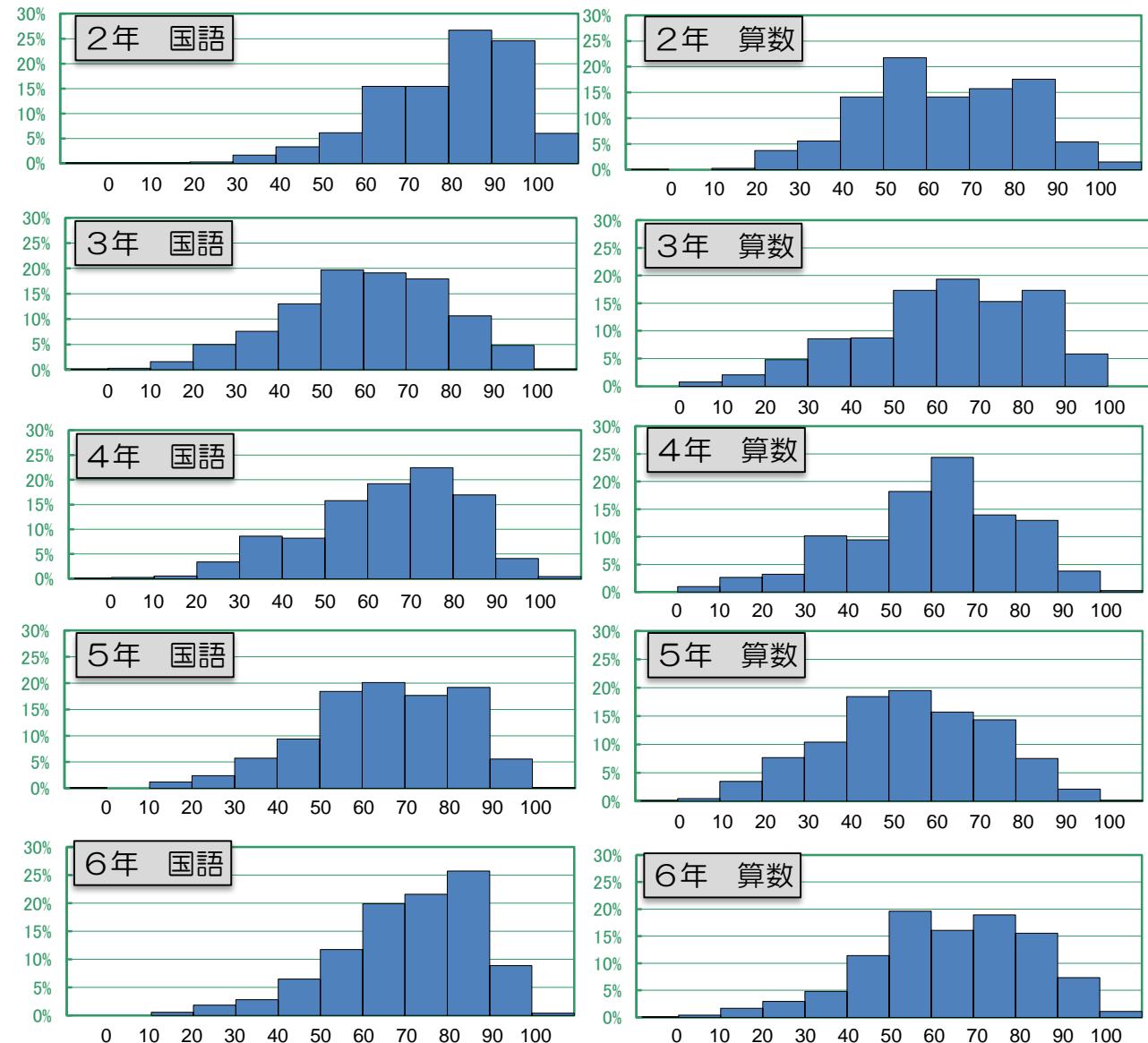


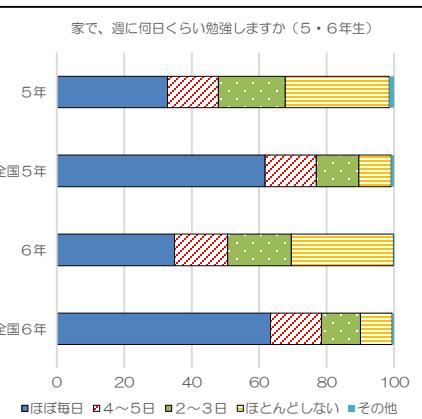
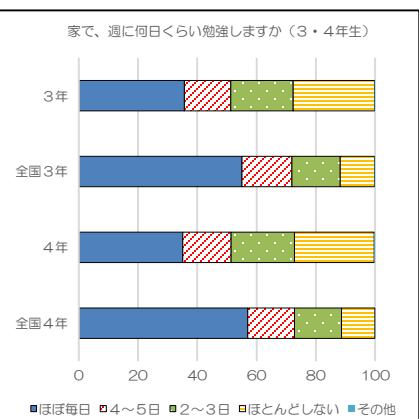
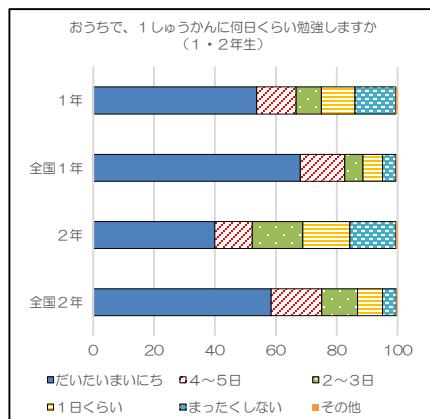
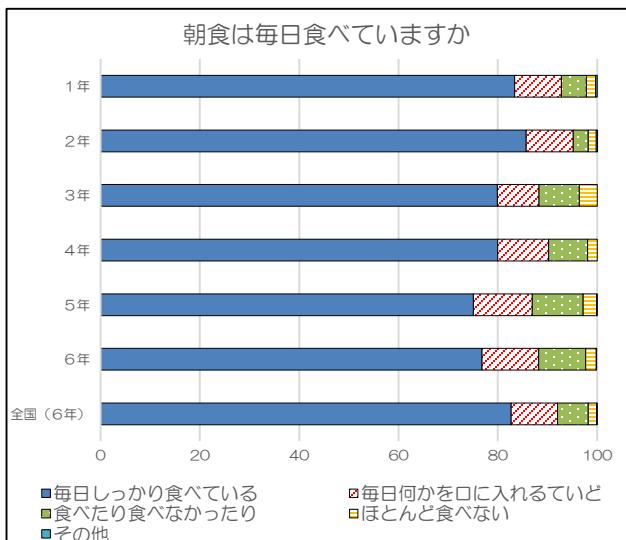
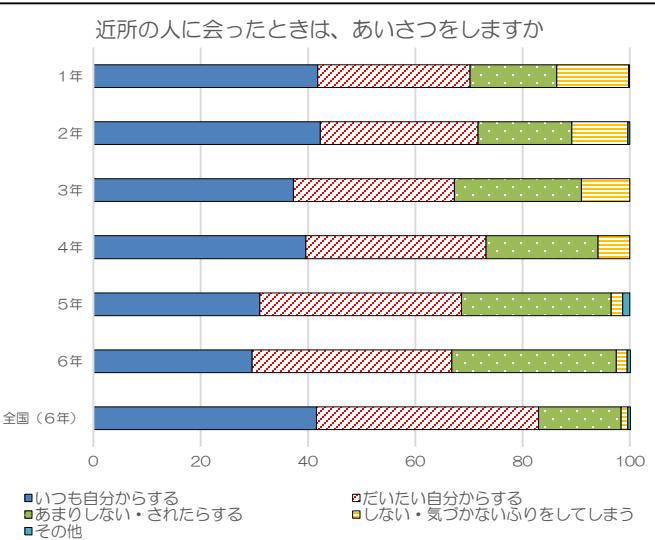
#### 算数



- ・全ての学年・教科で、全国参加者平均を下回った。
- ・国語は、2年生でおおむね良好な状況で、3、5年生で課題があった。
- ・算数は、2、6年生でおおむね良好な状況で、3、5年生で課題があった。
- ・同一学年(例:平成27年度の6年生と平成28年度の6年生)で見ると、全学年、昨年度より対全国参加者平均との差が縮まった。
- ・同一集団(例:平成27年度の5年生と平成28年度の6年生)で見ても、全学年、昨年度より対全国参加者平均との差が縮まった。

### 正答率分布

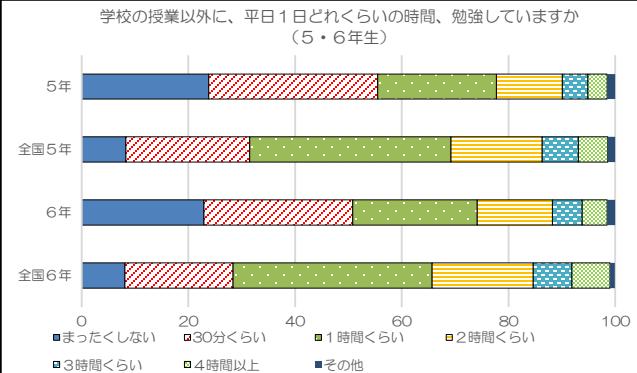
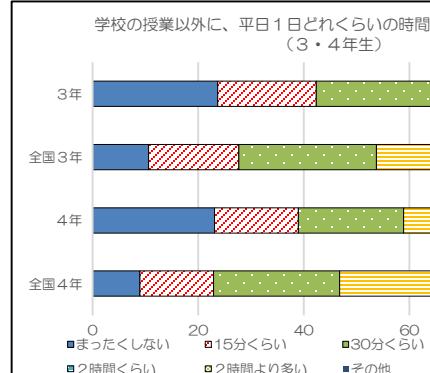




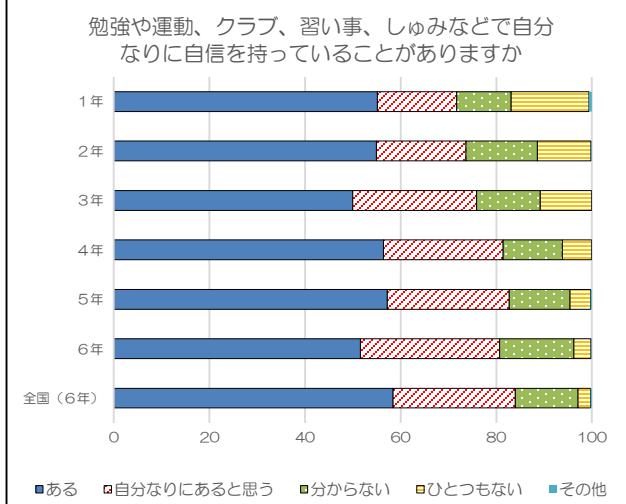
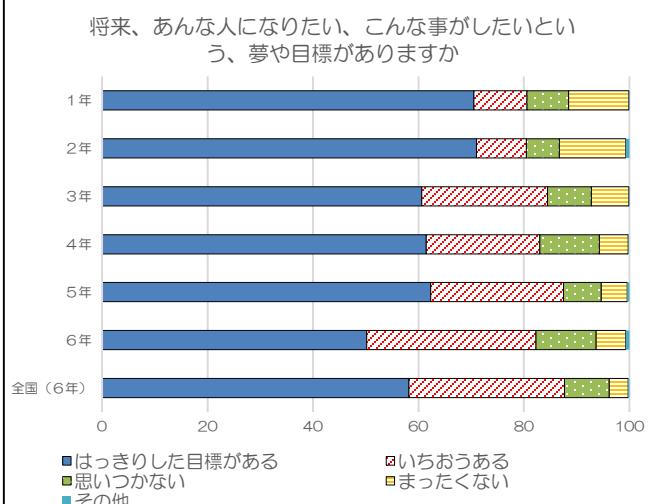
「いつも」「だいたい」自分からする児童の割合は、概ね学年が上がると減っていく傾向にある。6年生では、全国平均と比べて約16ポイント低い。

「毎日しっかり食べている」児童の割合は、概ね学年が上がると減っていく傾向にある。6年生では、全国平均と比べて約6ポイント低い。

週に4日以上勉強する児童の割合は、全国平均と比較してどの学年でも低く、その差は1年生で約16ポイント、2～4年生で約21～23ポイント、5、6年生で、約29ポイントに及ぶ。

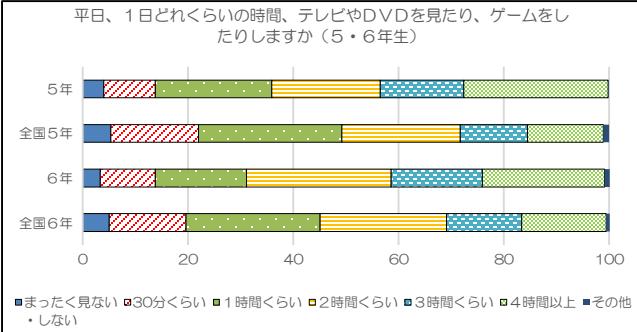
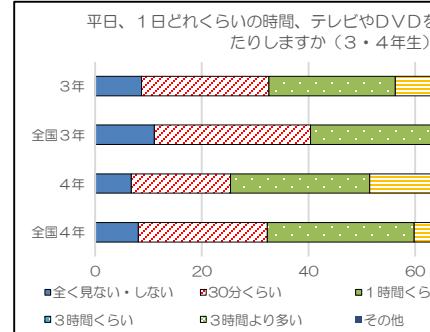


全国平均と比較して、平日の勉強時間が短い傾向にある。平日に「まったくしない」と答えた児童の割合が、3年生で約25ポイントに及び、学年が上がってもその割合はほぼ変わらない。摂津市の3年生～6年生の4人に1人は平日にまったく勉強をしていないことになる。

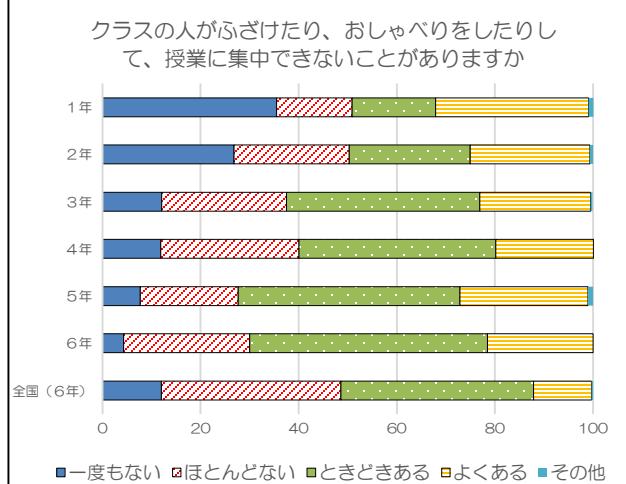
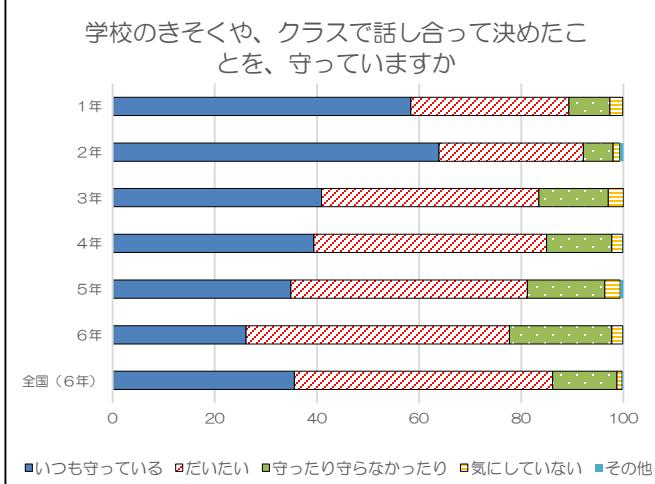


「はっきりした目標がある」「いちおうある」と答えた児童の割合は、どの学年でも80ポイントを超えている。6年生では、全国平均と比べて約6ポイント低い。

「ある」「自分なりにあると思う」と答えた児童の割合は、6年生ではやや低いものの、概ね学年が上がると増えていく傾向にある。6年生では、全国平均と比べて約3ポイント低い。

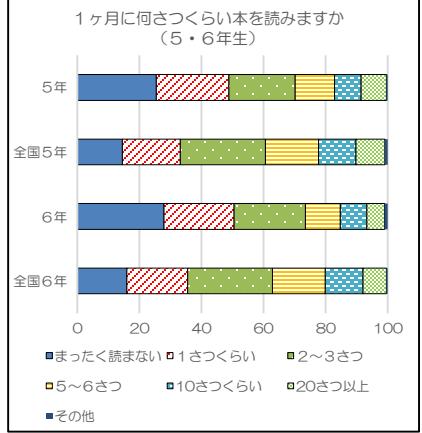
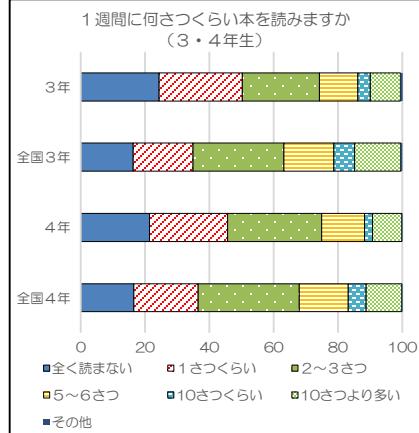
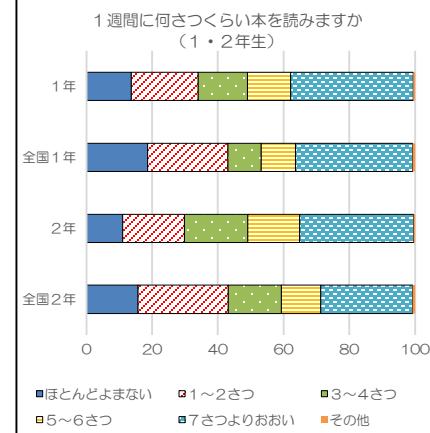


全国平均と比較して、どの学年も長時間、テレビ、ゲーム等に時間をを使う傾向にある。3、4年生のおよそ5人に1人が「3時間より多い」と答え、5、6年生のおよそ4人に1人が「4時間以上」と答えた。



「いつも」「だいたい」守っていると答えた児童の割合は、概ね学年が上がると減っていく傾向にある。6年生では、全国平均と比べて約9ポイント低い。

「一度もない」「ほとんどない」と答えた児童の割合は、学年が上がると減っていく傾向にある。6年生では、全国平均と比べて約19ポイント低い。



全国平均と比較して、低学年は読書量が多く、学年が上がると読書量が減っている。「ほとんど読まない」「全く読まない」児童の割合は、低学年は全国平均より約5ポイント低く、中学年は約5～8ポイント高く、高学年は約11～12ポイント高い。